



## 農業振興センターからのお知らせ

### 【産業功労者表彰】

平成 27 年度の産業功労者として、下記の 2 名の方が表彰されました。

11 月 17 日に、表彰式が行われました。

にし あきひこ

西 昭彦 様【北区有野町】

但馬牛の雌牛に限定した、良質でおいしい神戸ビーフの生産に取り組み、共進会や共励会などで多くの賞を受賞されており、その飼育管理技術は非常に高い評価を得ています。

また、JA兵庫六甲神戸北肉牛生産部会の会長を長年歴任され、神戸ビーフの増産や品質の向上に貢献されています。

みづら ひろみ

三浦 博美 様【西区伊川谷町】

昭和 44 年より、花壇苗生産に取り組み、その農業経営は高く評価されています。

また、多くの品評会で上位入賞を果たし、生産技術の向上にも取り組まれています。

平成 23 年からは神戸市花き協会の会長職を 2 期 4 年にわたり務められました。

在任中には、「神戸花物語」を定着させ、花育の推進など、さまざまな新事業にも取り組まれました。



### 【27年度 神戸アグリマイスターの認定】

神戸市では、平成 18 年度から、卓越した農業技術を有する方を「アグリマイスター」として認定し、次世代の農業を担う人材の育成や確保にご尽力いただいています。

今年は 10 月 11 日に、2 名の方が新たに認定されました。

いい やすゆき

石井 保行 様【北区大沢町】

神戸北山田錦部会の部会長などを務め、酒造組合との意見交換や、勉強会などを通じて、産地全体の品質の向上

と増収に向けて、さまざまな取り組みを行っておられます。



ふじわら まさゆき

藤原 昌之 様【西区岩岡町】

こうべ旬菜キャベツ部会部会長など各種生産組織の代表を務め、産地の規模拡大やレベルアップに取り組むとともに、新規就農者など、担い手の育成にも尽力されています。

### 【27年度 秋の褒章】

長年にわたり特定の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方に授与される黄綬（おうじゆ）褒章を受章されました。

にしうま きむこ

西馬 きむ子 様【西区神出町】

平成 9 年に、女性の手で有機農業の付加価値を高め、女性の自立を促す組織として「(有)ヘルシー・ママ・SUN」を立ち上げ、「食の安全・安心」や生産者と消費者の顔が見える関係づくりに注力されるとともに、農村女性の社会参加推進に尽力されてきました。



ヘルシー・ママ・SUN の皆さんとともに(右から 2 人目が西馬さん)

おおきた よしたか

また、大北 慶隆様(道場町・生野里づくり協議会会長)が、長年の保護司としての活動に対し、藍綬（らんじゆ）褒章を受章されました。



## 西区魅力発見ツアー



(10月11日：押部谷町)

西区主催で西区の魅力を味わえるバスツアーが開催され、農業振興センターとしても農業に携わる方のお話や農業体験の実施を連携して取り組みました。

押部谷果樹団地では広大な果樹園に感動し、収穫体験ができるグランメールでは、サトイモ掘りやシシトウ狩りなどで慣れないスコップに悪戦苦闘したりなど、皆さんたくさんの笑顔と、両手に抱えきれないほどの野菜や果物を袋に入れて持って帰りました。



## 田んぼアートの稲刈り体験



(10月17日：神出町)

JA兵庫六甲神戸西稲作経営部会と、神出東自治会主催の主催で、西区神出東の田んぼで作付けされていた、田んぼアートが収穫の秋を迎え、稲刈り体験が行われました。

早朝から9組27名の親子が、神出町にある雌岡山（めっこうさん）の山頂に集合。田んぼの中に見事に浮き上がった「田んぼアート」を山頂から見学しました。

その後、田んぼアートの圃場に移動して、6月に田植えを行った色とりどりの稲の刈り取りを、親子でお楽しみいただきました。



## 田んぼ農りんピック



(10月25日：神出町)



神出町紫合の広大な田んぼを舞台に、親子で楽しむ運動会「田んぼ農りんピック」が行われました。

「ヘルシー・ママ・SUN」主催のこの運動会は、今年で12回目を数えます。

大型トラクターと子どもたちの綱引き、松ぼっくりの玉入れ、農具を使った障害物競走など、農業にちなんだ楽しい数多くの種目がたくさん用意されており、大人も子どもも大いに盛り上がり、心地よい汗を流しました。



## 産地見学バスツアー



(10月27日：淡河町、北宮農総合センター)

7月に続いて、産地見学会を開催。神戸市婦人団体協議会50名の皆さんに参加いただきました。

淡河町では、長い棒を使っての渋柿収穫が皆さん童心に帰って大盛り上がり。ほかに、黒大豆の収穫や、石峯寺（しゃくぶじ）の参詣、JA神戸北宮農総合センターでは、山田錦を始めとした北神のお米の見学を行いました。

昼食は、道の駅淡河の「淡竹」で、そば等の地元食材を使った料理を賞味いただき、できたてのそばの味に感動されていました。

参加者の皆さんには、秋の農村地域の魅力を、存分に満喫していただいた一日でした。





## 第49回 みのりの祭典



(11月3日：湊川公園)

神戸の農業が一堂に会する「みのりの祭典」が、秋晴れの中、4万人の来場者を集めて行われました。

ステージでは、郷土芸能やチャイルドダンスなどが披露され、会場ブースでは神戸各地の農産物の販売、神戸の肉牛コンテストなど終日多くの人でにぎわいました。

### 出店者（関係分）

#### ◆地元野菜・米等の販売

(JA兵庫六甲神戸北、JA兵庫六甲神戸西、押部木津里づくり協議会、松本NGKグループ、神出東里づくり協議会、神出北里づくり協議会、小寺里づくり協議会、上北古里づくり協議会、生野里づくり協議会、北神戸農業青年クラブ、西神戸農業青年クラブ、善入農会、神出いも掘り部会)

#### ◆神戸産農水産物を使った大学生考案商品

(KOBE “にさんがろく” プロジェクト)

#### ◆北神みそ、たこやきの販売ほか

(JA兵庫六甲神戸北女性会)

#### ◆手打ちそばの販売 (市原里づくり協議会)

#### ◆赤飯・炊き込みごはんの販売 (ヘルシーママ・SUN)

#### ◆地元工芸品、加工品の販売

(淡河町里づくり地域協議会)

#### ◆神戸の肉牛コンテスト

(神戸市肉牛生産協会、神戸地域酪農推進協議会)

**ご協力ありがとうございました**



### 道場町「里づくり計画」の策定が始まる

(10月14日：道場町)

「道場町 新まちづくり(里づくり)基本計画検討会議」(委員28人)が農村環境改善センターで行われました。

昭和49年に、道場町まちづくり基本計画が策定されてから40年が経過し、地域を取り巻く環境は、大きく変化しました。

少子・高齢化、核家族化の進行や高齢者介護、子育て、防災・環境の問題など、地域において生活や福祉など、多様な面で課題が浮かび上がっています。

こうした現状を踏まえ、道場町の住民力(英知)を結集して、道場町の将来(未来)を見据えた、新まちづくり(里づくり)基本計画の策定に取り組みます。

基本計画の検討・策定期間は、平成27年度から平成29年度までの3か年です。

第1回の会議では、関西学院大学名誉教授加藤晃規先生による講演、「道場町の未来へつなぐまちづくり」が行われ、その後、計画策定にむけた活発な議論が行われました。



### 農業振興センター 短信

#### 11月～12月のイベント

- 11/20(金) 10:00～12:00  
「神戸フルーツ・フラワーパーク リニューアル 市民向け内覧会」(神戸フルーツ・フラワーパーク)
- 11/21(土) 10:00～  
「道の駅淡河 ふるさとまつり」(道の駅淡河)
- 11/27(金)  
「六甲のめぐみ リニューアル」(水産物の販売開始)
- 11/29(日) 10:00～  
「食と農の祭典」(農野花)
- 12/5(土) 10:00～  
「JAこうべ 地域のたべもの祭り」(神戸ワイナリー)
- 12/13(日) 10:00～13:00  
「しめなわづくりともちつき体験」(神出北ファームビレッジ)
- 12/20(日) 9:00～11:00  
「もちづくり体験」(上北古下池パークホール)
- 12/21(月) 16:30～  
「神戸西地区生産者大会」(西神オリエンタルホテル)

